

甲医 発第 9-4  
令和 6 年 9 月 11 日

山梨県介護支援専門員協会  
甲府支部長 宮下 貴文 様

甲府市医師会 会長  
星野 和實

同認知症対策委員長  
永松 正明



認知症在宅医療・介護に関わる多職種への  
オンライン研修会周知依頼

謹啓

秋晴の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より甲府市医師会事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医師会と甲府市は例年「認知症の在宅医療・介護」に関し、関係多職種の方々のスキルアップと連携推進を図る研修会を行ってきましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症流行状況を鑑み、「対面」を避け、オンライン研修（一週間内ご自分のパソコンやスマホでご都合良い時間にご視聴）を企画いたしましたので、ご案内をさせていただきます。

つきましては、貴会から会員の皆様への周知を賜りたくお願い申し上げる次第です。なお視聴ご希望の方は、お手数をお掛けして恐縮ですが、甲府市医師会ホームページの「在宅医療相談室」内に掲載してあります申込書をダウンロードいただき、会員所属の事業所ごとにお申し込みいただきたく存じます、高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時： 令和 6 年 10 月 29 日（火）～11 月 4 日（月祝）の 1 週間

内容： 映画「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」

（2022 年に劇場公開された、島民 100 人ばかりの離島の介護施設を追ったドキュメンタリー 77 分）

主催： 一般社団法人 甲府市医師会 甲府市

申し込み期限：10 月 22 日（火）

お申込みいただいた方への視聴用パスワードは各事業所代表者様あてに送らせていただきます。お申込みは事業所ごとに別紙記載アドレスあてにメールでいただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先：甲府市医師会 在宅医療相談室 TEL：055-220-6035

# 認知症の在宅医療・介護に関わる多職種の方々向け オンライン研修会

謹啓 平素は甲府市医師会および市の保健福祉行政にご理解とご協力いただき、心よりお礼申し上げます。医師会と甲府市は例年「認知症の在宅医療・介護」に関し、関係多職種の方々のスキルアップと連携推進を図る研修会を行ってきましたが、今年度もオンライン研修会を企画いたしましたので、ご案内をさせていただきます。ご多用の事と存じますが、多くの皆様にご視聴いただければ幸いです。

謹白

## 「僕とケアニンと島のおばあちゃんたちと。」

前作「僕とケアニンとおばあちゃんたちと。」は、世界中が注目する介護施設「あおいけあ」に1年間密着し、何故この施設が注目を集めているのか、その裏側に迫るといった内容。

第2弾となる本作の舞台は、鹿児島港からフェリーで12時間、島民わずか100人ばかりが生活するトカラ列島・宝島。

この島唯一の介護施設に、若手ドキュメンタリー監督が半年間密着しました。はじめはリゾート気分が味わえると思っていた監督でしたが、飲食店や娯楽がなく、都会とはまったく違う環境に衝撃を受けます。しかし、これだけ不便な環境でも、島民は協力し合い笑顔で生活を送っており、その光景を目の当たりにし、いつしか「島民は生まれ育った場所でどのような想いを持って生活しているのか」と考えるようになります。



公式 HP

視聴期間：令和6年10月29日（火）～11月4日（月祝）（24時間視聴可）

視聴料：無料

申込方法：甲府市医師会ホームページの「在宅医療相談室」内に掲載してあります、申込書をダウンロードいただき、ご入力後下記アドレス宛てに送信下さい。（事業所ごとのメール申込み以外は不可となります）

視聴方法：10月29日（火）午前にお申込みいただきました事業所代表者へ、視聴用URL及び視聴コードを送信します。事業所代表者は、申し込まれた職員にお知らせください。

- 注意事項：① 事業所毎にお申し込み頂きますが、一人一台の端末でご視聴下さい。一台の端末で複数人での視聴は出来ません。  
② 動画の撮影、録画、スクリーンショットは禁止されています。  
③ メールを受信拒否設定をされている場合は、下記アドレスを受信できるよう設定をお願いします。  
④ ご不明な点等ございましたら在宅医療相談室（Tel：055-220-6035）へお問い合わせ下さい。

申込期限：令和6年10月22日（火）

申込みメール：[kzaitaku@eps4.comlink.ne.jp](mailto:kzaitaku@eps4.comlink.ne.jp)



島のおばあちゃんたちと。



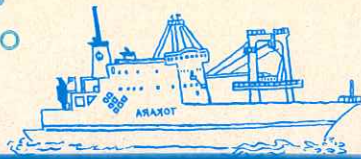
ケアニンと



僕と



島民わずか百人ばかりの絶海の孤島——  
島唯一の介護施設にやって来たのは、  
介護未経験の若者でした。



ナレーション 戸塚純貴

撮影・編集・監督:佐々木航弥 企画・プロデュース:山国秀幸 主題歌:香川裕光「此処〜たからもの〜」  
製作:山国秀幸 プロデューサー:小早川篤久 アシスタントプロデューサー:小川明日香 音楽:若狭真司(未音制作所) 宣伝デザイン:奥村素奈 特別協力:森田洋之(南日本ヘルスリサーチラボ)  
協力:全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 制作/監修:ワンダーラボトリー 制作協力:ホームたから ©映画「僕とケアニンと島のおばあちゃんたち」と AFE

目に見える風景は、人と出会い、繋がることで、大きく変わる ——  
ここは、「地域と共に生きる」ためのヒントにあふれていた。





「僕ケア」シリーズ第2弾は、医師も警察もない、  
島民100人ばかりが生活する“絶海の孤島へ”

前作「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」(2019年公開)は、世界中が注目する介護施設「あおいけあ」に1年間密着し、何故この施設が注目を集めているのか、その裏側に迫るといった内容。

第2弾となる本作の舞台は、鹿児島港からフェリーで12時間、島民わずか100人ばかりが生活するトカラ列島・宝島。この島唯一の介護施設に、若手ドキュメンタリー監督が半年間密着しました。

はじめはリゾート気分を味わえると思っていた監督でしたが、飲食店や娯楽がなく、都会とはまったく違う環境に衝撃を受けます。しかし、これだけ不便な環境でも、島民は協力し合い笑顔で生活を送っており、その光景を目の当たりにし、いつしか「島民は生まれ育った場所でのどのような想いを持って生活しているのか」と考えるようになります。

島唯一の介護施設に密着することで見えてきた“離島の介護”

監督が撮影を開始した時を同じくして、東京から介護未経験の若者がこの介護施設の責任者になるためにやってきます。慣れない離島での生活や、経験の浅い介護の仕事に苦戦し、ここへ来たことを後悔する若者。しかし、施設の利用者や島民らと触れ合うことで、徐々にその顔つきにも変化が現れはじめます。一方の監督は、島唯一の介護施設に密着し、そこで働くスタッフ達の想いを聞いていくうちに、「離島の介護」のリアルを知ることになります。



ナレーション 戸塚純貴

撮影・編集・監督:佐々木航弥 企画・プロデュース:山岡秀幸 主題歌:香川裕光「此処〜たからもの〜」  
製作:山岡秀幸 プロデューサー:小泉田高久 アシスタントプロデューサー:小川明日香 音楽:若狭真司(未音制作所)  
宣伝デザイン:黒村善崇 特別協力:森田洋之(南日本ヘルスリサーチラボ) 協力:全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会  
制作・配給:ワンダーラボラトリー 制作協力:ホームたから 映画「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」

[www.bokucare.com/2/](http://www.bokucare.com/2/)

AFF

ケアニンとは…

介護、看護、医療、リハビリなど、  
人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、  
情熱を持って働いている全ての人。

